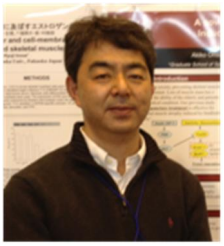
働き者の心臓を見て、触って、聴いて、知りつくそう

先生（代表者）	南沢　享（みなみさわ　すすむ） 細胞生理学講座・教授				
自　己　紹　介	生まれながらに心臓に病気のあるこども達がいます。薬や手術でごく普通の生活ができるようになるこども達がいる一方で、今の医学でもどうしても治せないこども達がいます。少しでも良くなる方法はないかと思って研究を始めました。同時に心臓という臓器の形や機能の神秘さに惹かれて、ずっと研究を続けています。研究で大切にしているのは4つの心（想・愚・感・恩）です。				
開催日時・ 主な募集対象	平成26年8月7日（木）	（対象）	中学生	（人数）	16名
集合場所・時間	東京慈恵会医科大学　1号館7階実習室		（集合時間）	10時（受付開始 9:30）	

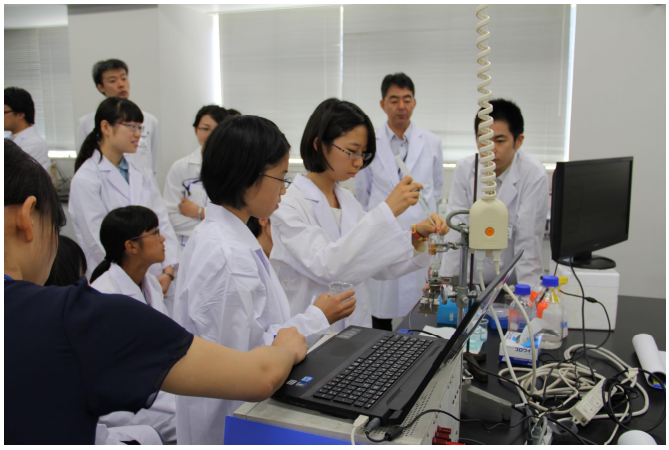
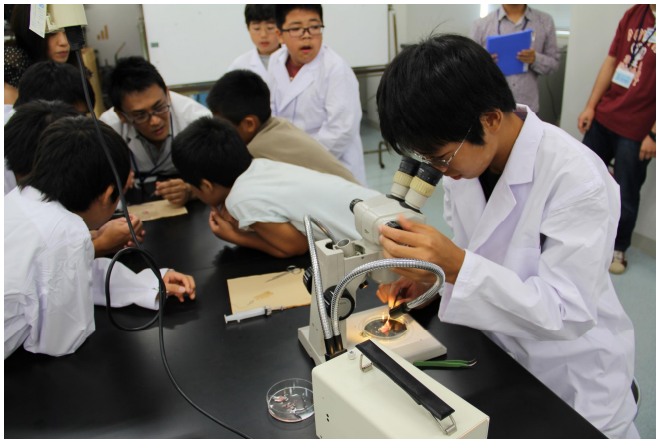
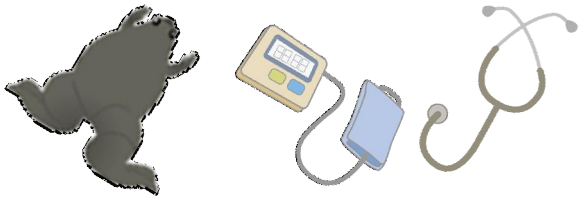
内　　容

心臓は命の始めから終わりまで黙々と動き続ける働き者です。おとなの男の人で1時間に平均して約4000 回、200 リットルの血液を体に送り続けるために心臓の筋肉は縮んだりのびたりします。これをずっと一生、続けるとどの位の数、量になるか考えてみてください。例えば、同じだけ腕立て伏せができますか？　この働き者について学ぶために、まず自分たちの血圧と脈拍を測ってみましょう。これは心臓が元気かを見るのに一番簡単な方法です。でも、これだけでは心臓がどんな形や動きをしているかまではわかりませんね。では、超音波や実験動物を使って体の外側から心臓を観察しましょう。本プログラムでは心臓の働きぶりを見て、触れて、聴いて、感じてみます。そこからどうして心臓が動くのか、その仕組みについて、一緒に考えてみましょう。

スケジュール	
9:30-10:00	受付開始、開場
10:00-10:10	開校式（挨拶、オリエンテーション、科研費の説明）
10:10-10:30	講義「心臓って何をしているの？」
10:30-11:00	実習「血圧測定、脈拍測定」
11:00-11:20	講義 「心電図って何？」
11:20-12:00	実習「心電図測定」
12:00-13:00	昼食（研究者との交流）
13:00-13:30	講義「心臓はどうして動く？」
13:30-15:00	グループ実習 （カエルやヒトの心臓の動きを直接観察する）
15:00-15:30	クッキータイム（軽食、お菓子、お茶） アンケート記入および質問コーナー
15:30-16:00	修了式（未来博士号授与）

持　ち　物

筆記用具
汚れても良い服装

特 記 事 項

参加者同士（男女別々）で心電図、血圧の測定をします。動物の心臓を取り出して、動く様子を観察するので、これまでに生物の解剖等で気分が悪くなったり、アレルギーのある方は、事前にご相談の上、受講を考えます。